



ブリ

主な漁業と漁期

定置網: 周年

釣: 周年

生態

日本各地に分布し、多くは沿岸域の水深30~100m層を泳ぎながら北海道~鹿児島県まで広く回遊します。一方、南部海域にはあまり移動せず瀬に定着する瀬付きの魚群も生息しています。若齢魚は比較的狭い範囲を回遊しますが、高齢になるほど広がります。

●産卵場・産卵期

東シナ海の陸棚縁辺部を中心として、九州~能登半島周辺以西および伊豆諸島以西の沿岸域で1~7月に産卵が行われます。

●食性

肉食性で尾叉長8cmまでは動物プランクトン(甲殻類)を主に捕食しますが、その後は魚食性が強くなり、尾叉長13cm程度でほぼ完全な魚食性となります。成魚ではイワシ類、アジ類、イカ類、タイ類などを捕食します。

●成長・成熟

寿命は7歳程度です。流れ藻について生活する稚魚をモジヤコ、尾叉長約20cmまでの0歳魚をワカシ、約40cmまでの1歳魚をイナダ、約60cmまでの2歳魚をワラサ、60cm以上の3歳魚以上をブリと呼称をかえて成長します。3歳魚では一部が、4歳以上で全てが成熟します。

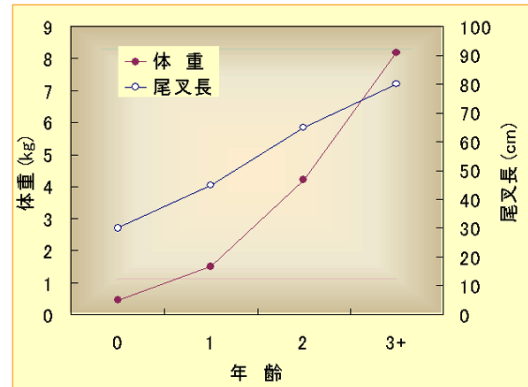
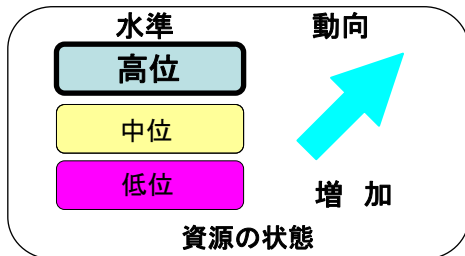


図 年齢と成長

漁業・資源動向

【資源】



- 1 全国のブリ(類)の漁獲量は2014年には12.6万トンと過去最高となりました。
- 2 全国の漁獲量の増加は資源量の増加に加え、まき網の漁獲努力量の増加の影響が大きいと考えられています。
- 3 2016年の資源量は26.2万トンで高位、資源動向は増加と評価されていますが、漁獲物の年齢組成は0,1歳魚を中心とする未成魚に大きく偏っていることから、未成魚に対する漁獲圧を下げる管理が望ましいと考えられています。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

ダイジェスト版

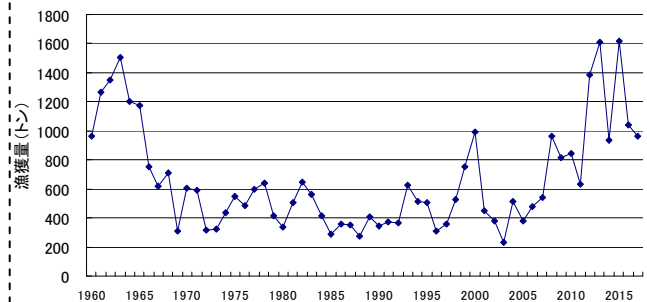
http://abchan.fra.go.jp/digests2017/html/2017_42.html

詳細版

<http://abchan.fra.go.jp/digests2017/details/201742.pdf>

【漁業】

- 1 静岡県では主に定置網や釣で漁獲されています。
- 2 県内の漁獲量は1963年をピークに減少傾向となりましたが、2003年以降は増加傾向がみられています。
- 3 近年では2011、2012、2013年級群の資源水準が高いことから、他県と同様に好漁が続いています。
- 4 伊豆東岸の大型定置の2015年のぶり銘柄(6kg以上)の漁獲量は548トン、漁獲尾数は76万尾と、1962年以来の豊漁となりました。2016年以降も平年を上回る好調な漁獲が続いています。



静岡県のブリ類水揚量

担当者の一言: 水揚げのピークは春。ほどよく脂の乗った身は、刺身や塩焼きで御堪能下さい。

問合せ先

静岡県水産技術研究所 伊豆分場 0558-22-0835